

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.4
平成27年5月18日

保護者・地域の皆様に感謝!

桜小学校では、4月よりスクールガード（桜小子ども見守り隊）が発足し、この活動が始まっています。今までには、雨天の日もあつたり、初夏の暑さに汗ばむ日もあつたりと、天候が良くない日もあるのですが、桜っ子の安全な登下校のために、見守ったり、付き添ったりしてくださっています。本当にありがとうございます。

また、桜小学校では、6月1日（月）に、道徳教育、特別活動の一環として地域清掃を計画しています。この地域清掃は、地域の人とふれあい、自ら進んで地域のために働く活動を通して、公德心・自然愛を育むことをねらいとしています。

この活動には、学校だけでなく保護者・地域の方にもご協力をお願いしたところ、何人かの保護者をご参加を申し出てくださいました。ありがとうございます。初めての取り組みですが、学校と家庭・地域が連携しながら、地域清掃を進めていきたいと思っています。ご理解・ご協力をお願いいたします。



全校朝礼の話より（5／18）

3つの耳

私たちは、口は1つですが、耳は2つあります。「これは、お話をすることも大切ですが、それ以上に聴くことが大切です」ということで、神様が耳を2つにしてくれたのではないかと思います。

ところで、この耳の使い方ですが、人によって3つに分けられるそうです。

1つめは、「鉄砲耳」です。

この耳は鉄砲の弾のように、聞いたことを右から左へとすぐに抜けてしまう耳です。おうちの人の話、先生の話、友だちの発表などを「うん、うん」とうなずきながら聞いていたようなのに、お話が終わると何にも覚えていない耳です。

2つめは「ざる耳」です。

ざるは、野菜など入れて洗うときに使いますね。ざるで洗うと、野菜はそのまま残りますが、水だけは流れてしまいます。このざるのように、人の話を聞いたときには、だいたいのことは覚えているのですが、細かいことは覚えていない、そして、時間がたつと忘れてしまう。そんな、水が流れ出てしまうような耳を「ざる耳」と言います。

3つめは「財布耳」です。

財布というのは、お金を大切にに入れておく物です。これを落としたり、なくしたりしたら大変です。財布は、必要なときには取り出してすぐに使えるようにしておかなくてはだめですね。

この財布のように、家の人や先生から言われたこと、友だちの発表をしっかりと頭の中にしまっておき、必要なときにそれを思い出して上手に使える耳…これを「財布耳」と言います。

今日は、3つの耳についてお話ししましたが、みなさんの耳はどれでしょうか。そして、一番良い耳はどれですか。そうです、財布耳です。今日からは、財布耳で人の話を聴いてください。

